

「情報理論入門」 正誤表

1刷の正誤表

頁	場所	誤	正
p.6	下から 8 行目	$= - \sum_{i=1}^i p_i \log p_i$	$= - \sum_{i=1}^n p_i \log p_i$
	下から 7 行目	これをエントロピーをいう	これをエントロピーという
p.9	10 行目	をいつている.	である.
p.10	図 1.1(2)	$p_1 + p_2$	$p_2 + p_3$
p.12	5 行目	上のような, 状況で,	上のような 状況 で,
p.17	下から 10 行目	$= \sum_{i=1}^n \sum_{j=1}^m \dots$	$= \sum_{i=1}^n \sum_{j=1}^m \dots$
p.19	3 行目	対応つける	対応 づ ける
p.24	下から 12 行目	エントロピ	エントロピ ー
	最終行	状態を遷移をしながら	状態を 遷 移しながら
p.26	5 行目	確率 $q_{aj_{m+1}i}$ とは	確率 $q_{aj_{m+1}i}$ は
p.30	7~8 行目	求め方述べる	求め方 を 述べる
p.31	12 行目	与る	与 え る
p.33	下から 4 行目	実際の, 英語の	実際の 英語 の
p.38	最終行	であったかの	であった のか
p.41	下から 9 行目	符号語の集まりを	符号語の集まり と
p.43	下から 7~6 行目	クラフトの不等式を	クラフトの不等式 は
p.45	11 行目, 最終行	クラフトの不等式	マクミラン の不等式
p.46	下から 10 行目	示すことができる,	示すことができる.
p.48	6 行目	またこの符号化を	またこの符号化 は
p.50	下から 5 行目	a_6, a_5, a_4 が	a_6, a_5, a_4 を
	下から 3 行目	生起確率が 0.25 で 並び替えたとした	生起確率が 0.25 で, 並び替えた
p.51	最終行	越える	超 える
p.54	下から 3 行目	ダイアグラムを	ダイアグラム は
p.57	2 行目	$H(A, B)$	$H(\mathbf{AB})$
p.62	下から 9 行目	どんどん小さく 0 に	どんどん小さく な って 0 に
p.65	4 行目	ところで	ところ が
p.67	3 行目	あること知った	あること を 知った
p.68	6 行目	設計され符号	設計され た 符号
	9 行目	上記の 2 つ符号を	上記の 2 つの符号 は
p.69	3 行目	符号を	符号 は
	下から 9 行目	いま付加した第 4 列目の	いま付加した第 4 行 目の
p.82	6 行目	情報与えて	情報 を 与えて
p.88	2 行目	送信しする	送信 す る
p.98	8 行目	割り切る	割り切 れ る

頁	場所	誤	正
p.104	13行目	であるので値自身には,	であるので, 値自身には
p.114	12行目	$F(w)$ を	$F(w)$ は
		$f(t)$ 自身を,	$f(t)$ 自身は
p.120	3行目	標本点うちで	標本点のうちで